

篠山市入札監視委員会議事録概要書
(平成 28 年度 第 1 回)

開催日	平成 28 年 7 月 20 日 (水)	
開催場所	篠山市役所本庁舎 301 会議室	
出席委員	委員長 東 泰弘 委員 松本 幸一 山内 猛史	
審議対象期間	平成 27 年 10 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日	
抽出案件	総件数 7 件	(備考)
一般競争入札	3 件	市長部局 一般競争入札 3 件 指名競争入札 1 件 随意契約 1 件
指名競争入札	2 件	教育委員会 指名競争入札 1 件 随意契約 1 件
随意契約	2 件	
委員からの意見・質問	<ol style="list-style-type: none"> 1. 資格要件に、市内業者を限定している根拠は何か。 2. 資格要件関係書類を落札後に審査するのは、事務処理が容易であるからか。 3. 資格要件が市内土木工事 A ランクと B・C ランクの場合があるが、基準は何か。 4. ごみ焼却施設クレーン定期修繕を指名競争入札にした理由は何か。 5. 前回のクレーン定期修繕はいつごろ行われたのか。 6. 毎年入札している指名競争入札参加業者は、同じか。 7. 制限付き一般競争入札から指名競争入札に切り替えた理由は何か。 8. 市民からどんなトイレ改修の要望があったのか。 9. 既に工事着工している中で、追加工事がされたということか。 10. 随意契約は、高額な場合でも 1 社見積もりでよいのか。 	
委員からの意見・質問に対する回答	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国交省からの通達に「地域建設業者の受注機会の確保」があり、それを受けて市内業者で対応できるものは市内業者を選定している。 2. そうです。事前チェックであれば申込者全部をチェックすることとなり、事務量増大と参加者の負担増につながるため、落札後に落札者のみを審査している。 3. 土木工事の場合、設計価格 1500 万円以上は A ランク、 	

	<p>500 万円以上から 3000 万円未満は B ランク、1000 万円未満は C ランクとなります。</p> <p>4. クレーン修繕と点検の実績がある 4 業者を選定。指名することで応札する可能性が高くなるため。</p> <p>5. 昨年度行われた。毎年度定期修繕点検を実施している。</p> <p>6. ほぼ同じであるが、今回はクレーン取扱業者 1 社を新たに指名した。1 社でも多く参加できるよう取り組む。</p> <p>7. 応札がなかった場合、ランク変更や市外業者を参加させるなどして再入札を行う。見積期間短縮と応札の確率が高くなるために、指名競争入札に切り替えた。</p> <p>8. 屋外設置の和式汲取式トイレは、公衆衛生上よくないという要望であった。</p> <p>9. 追加でなく、国庫補助事業工事と市単独事業工事の 2 つの工事である。国庫補助事業を施行中の業者が、同一構内に工事施工中同一請負人にさせることが有利であるという随意契約理由第 6 号に該当するため、随意契約を行った。</p> <p>10. 入札に付したが、応札者がなかったため、随意契約とし、見積もりを依頼したが、地元業者 1 社が事業の状況を真剣に考えていただいて応じていただいた。この案件は、統廃合の日が決まっており、工事期間が限られていた。</p>
<p>委員会による意見具申 又は勧告の内容</p>	<p>抽出案件については、すべて適切に執行されている。</p>